



2022年10月27日

各 位

会 社 名 ア ル ー 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 落 合 文 四 郎
 (コード番号: 7043 東証グロース)
 問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 稲 村 大 悟
 コーポレート管掌
 (TEL. 03-6268-9791)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の状況を踏まえ2023年2月9日に公表した2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,277	270	263	174	68.71
今回修正予想 (B)	3,010	63	60	37	14.58
増減額 (B - A)	△267	△207	△203	△137	
増減率 (%)	△8.1	△76.7	△77.2	△78.7	
(参考)前期連結実績 (2022年12月期)	2,772	230	227	166	65.89

2. 修正の理由

法人向け教育研修における既存顧客の教室型研修実施は計画どおり拡大したものの、顧客開拓において新規顧客の獲得が想定よりも進まなかったことで法人向け教育の売上高が当初計画していた2,700百万円の達成が困難になる予想となったことに加え、etudesにおいては、ASP利用や新規顧客の獲得が想定通りに進捗した傍ら、導入時の試用等の増加により顧客単価の向上が想定よりも図れなかったことから、etudesの売上高も当初の計画である410百万円を下回る見込みとなりました。

以上のことから、法人向け教育2,470百万円、etudes370百万円に予想を修正し、その他売上高を合算した連結業績予想の売上高を3,010百万円に修正し、前回発表の予想を267百万円(増減率△8.1%)下回る見込みとなりました。

また、利益面においては、法人向け教育研修において新規顧客獲得に注力するために内部の人員が講師を務めていた割合を減らしたことで、外注講師比率が上昇し外注講師費が当初予定よりも17百万円増加したほか、新型コロナウイルス感染症による渡航制限が徐々に解かれたことにより、オンラインで行っていた海外派遣研修の渡航・実地研修割合が増加し海外派遣研修の売上原価が10百万円増となったことに加え旅費交通費が増加したことで売上原価が増加した結果、売上総利益率が想定よりも4.5pt低下いたしました。

また、前年より注力しております新規顧客開拓のための人員の増員やマーケティング費用の投資につきましては計画通り行った結果、販売費および一般管理費は当初の想定通りに推移いたしました。

以上のことにより利益は前回発表の予想をそれぞれ下回り、営業利益 63 百万円（増減率△76.7%）、経常利益 60 百万円（増減率△77.2%）、親会社株主に帰属する当期純利益 37 百万円（増減率△78.7%）となる見込みとなりました。

なお、2023 年 2 月 9 日に公表いたしました配当予想からの変更はありません。

以 上